



**KMU** 金沢医科大学氷見市民病院

| 広 | 報 | 誌 |

# かけはし

氷見

KAKEHASHI



患者さんと病院と  
地域をつなぐ広報誌

KANAZAWA MEDICAL UNIVERSITY  
HIMI MUNICIPAL HOSPITAL

TOPICS ● トピックス

## 平成29年度 新規採用者入職式

朝日山公園の桜

CONTENTS ● もくじ

TOPICS	CEO 着任のご挨拶	P.01
	平成29年度 新規採用者入職式・新入職者紹介	P.02
特集	平成28年度 金沢医科大学氷見市民病院市民公開講座	P.04
	病院★ニュース	P.05
	病院からのお知らせ掲示板	P.06
	まちかど情報	P.07

病院の理念

私たちは「生命の畏敬」を医療活動の原点として  
次のような病院を目指します。

- 医療人としての研鑽に励み、患者さん中心の医療を実践します。
- 住民の健康と生命を守る中核病院として、安全で質の高い医療を提供します。
- 地域の医療機関と協力し、地域の医療福祉の向上に貢献します。
- 将来の地域医療の担い手となる有能な医療人を育成します。





# 就任のご挨拶



金沢医科大学氷見市民病院  
最高経営責任者  
川上 重彦

この度、本年4月1日をもって第3代目の金沢医科大学氷見市民病院最高経営責任者（CEO）に就任いたしました。竹越襄先生、高島茂樹先生の後を引き継ぐ事となり、大変光栄であるとともにその責任の重さに身の引き締まる思いです。微力ではありますが、地域の皆様方に愛され、信頼される地域中核病院としてさらに発展するように努力したいと考えております。

私は1976年に金沢大学医学部を卒業後直ちに金沢医科大学形成外科学教室に入り、以来41年間金沢医科大学でお世話になってきました。最初の21年間は先代の塚田教授の下で様々な形成外科領域の臨床・研究を学びました。1996年には米国カリフォルニア大学ロサンゼルス校形成外科（UCLA）へ留学する機会もいただきました。帰国後、翌年（1997年）に塚田教授の後任として形成外科学講座主任教授を拝命し、以来20年間に亘り金沢医

科大学病院で診療科長として形成外科診療を行い、本年3月末をもって講座主任教授・診療科長を定年・退任いたしました。その間、大学では竹越学長の下で学生部長を拝命し、病院では山下理事長、竹越理事長の下で病院長を拝命し、学生教育や病院の管理運営を学ぶ機会を与えていただきました。このような貴重な経験を生かして金沢医科大学氷見市民病院の発展に寄与したいと念じております。

金沢医科大学氷見市民病院は公設民営化病院としてスタートして10年目となりました。その間、本院は着実な発展を遂げていますが、今後在宅医療推進を視野に入れた地域医療連携のいっそうの充実、急性期医療から慢性・回復期医療、人間ドックも含めた「地域完結型」基幹施設としての機能強化に取り組んでいきたいと考えています。皆様方のご支援、ご協力をお願いいたします。

## 金沢医科大学氷見市民病院

平成29年度

## 新入職員入職式

平成29年4月3日(月)午後2時から新入職員入職式が氷見市民病院6階多目的ホールで行われました。今年度の入職者は医師3名、薬剤師1名、看護師17名、臨床工学技士2名、事務員1名、看護補助員1名の計25名です。

入職式は川上重彦最高経営責任者ならびに齋藤人志病院長をはじめ多数の病院幹部職員列席のもと行われました。新入職員を代表し、薬剤師の前田志帆さんに川上最高経営責任者から辞令が交付され、「患者さんや地域の皆さんから信頼される職員となり、職員一同で働き甲斐のある、活力ある病院を創っていただきたい。」と式辞が述べられました。続いて齋藤病院長から「患者さん、スタッフに思いやりを持ち、良い医療を提供できる職員になってほしい。」と訓示がありました。

最後に新入職員を代表して、初期臨床研修医一森悠希さんが「金沢医科大学氷見市民病院の一員として、自己研鑽に努め職務に精励することを誓います。」と宣誓し、入職式を閉会しました。

その後、新人オリエンテーションと題し、各部署紹介や研修を四日間行い、各所属部署での勤務が始まりました。



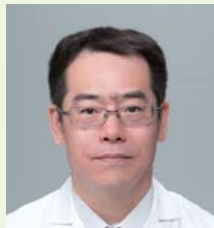
## 平成29年度 新任医師名簿



腎臓内科

医員  
山崎 恵大

整形外科

講師  
田口 慶太

泌尿器科

助教  
橘 宏典

整形外科

准教授  
波多野 栄重

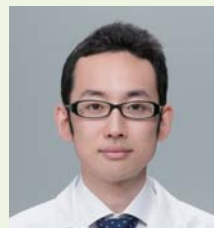
内分・代謝科

准教授  
津田 真一

初期臨床研修

臨床研修医  
一森 悠希

初期臨床研修

臨床研修医  
黒木 健伍

皮膚科

医員  
石倉 祐貴

総合診療科

医員  
武島 健人



# 新人オリエンテーション

平成29年度

## 新人オリエンテーション

4月3日(月)

- ① 病院の概要と運営について
- ② 学校法人金沢医科大学の概要及び病院職員としての心構えについて

4月4日(火)

- ① 各部門紹介
- ② 職業人としての健康管理について
- ③ 新入職員接遇研修  
(医療接遇アドバイザー 小山美智子氏)
- ④ 個人情報保護について

4月5日(水)

- ① 各部門紹介
- ② 地域医療連携について
- ③ 看護部りんごステーションの紹介
- ④ 職場における防火と防災について  
(氷見市消防本部)

4月6日(木)

- ① 感染防止の基礎知識について
- ② 医療安全の基礎知識について
- ③ BLS研修



### コメディカル 4名



### 看護部 16名



### 5階東病棟 看護師 伊藤 智樹さん



昨年病院見学をさせてもらった時に患者さん一人ひとりに優しく、職員同士の挨拶が活発で明るい雰囲気のある環境の良い病院だと思い入職を希望しました。

今はまだわからないことが多いのですが先輩から多くのことを学び、患者さんに安心して療養生活を送ってもらえる環境づくりの一端を担っていきけるよう、また、患者さんへの優しさを忘れず、いつでも頼ってもらえる看護師となるよう努力していきたいと思えます。



平成28年度北陸がんプロ金沢医科大学氷見市民病院

# 市民公開講座

平成29年2月4日(土)金沢医科大学氷見市民病院6階多目的ホールにおいて、メインテーマに「がんの克服に向かって」を掲げ、今回で4回目となる「北陸がんプロ金沢医科大学氷見市民病院市民公開講座」が開催されました。開催にあたり高島茂樹金沢医科大学副理事長から、我が国におけるがん対策の沿革について説明があり、がん対



策として、「がんによる死亡者数の減少を図ること」「がん患者とその家族の苦痛を軽減することにより療養生活の質の維持向上を図ること」、「がんになっても安心して暮らせる社会生活を構築すること」の三点を強調され、本日の市民公開講座も国の施策の一つとして開催するとの挨拶がありました。

## 第1部

### 基調講演

第1部基調講演では、横浜相原病院病院長の吉田勝明先生を座長に、元プロレスラーの小橋建太氏が「腎臓がんからの奇跡の復活〜この一瞬を大切に生きる〜」の題で講演が行われました。小橋氏は、チャンピオンになった直後の2006年、39歳で腎臓がんが見つかり、「まさか自分が…」と当初は、隠せない心の不安や動揺は非常に大きなものであったが、家族らの励ましや支えにより、右腎臓の摘出手術を受け、



手術から1年半後にプロレスのリングに奇跡の復活を成し遂げたことなどを熱く語られました。小橋氏は、諦めずに着実にリハビリを重ねてがんを克服し、生きる意味は人それぞれ違うがそれに向かって進むことが大切であると強調され、参加者は、熱心に聴講されました。

## 第2部

### 特別講演

続いて、第2部特別講演では、金沢医科大学消化器内視鏡学伊藤透教授を座長に「もしも自分あるいは身内や親しい方が「肺がん?」といわれたら、進歩する肺がん最新治療」と題して、金沢医科大学呼吸器外科学浦本秀隆教

授が講演されました。肺とは何か?から始まり、肺がんの診断の流れや胸腔鏡手術といった最新の治療方法について動画を用いて詳細に分かりやすく解説されました。

最後に、齋藤人志病院長の閉会の挨拶にて盛会に終わりました。金沢医科大学氷見市民病院での市民公開講座は、北陸高度がんブロンチーモ養成基盤形成プランにおける補助期間の最終年度となるため今回で最後となるが、当日は、200名の市民と医療関係者の参加を頂き、がんの克服に向かって一歩前に入る勇気を持つことの大切さについて理解が深まり、参加者にとって最後にふさわしい有意義な市民公開講座となりました。





## 乳房X線装置が新しくなりました

2016年12月よりフルデジタル乳房X線装置 MAMMOMAT Inspiration を導入しました。

今回、当院に導入した乳房X線装置は最新の技術を搭載しており、高画質と被ばく低減を両立した装置になっています。従来に比べて最大50%被ばくを低減しつつ、微細な病変の描出が可能です。

一般的にマンモグラフィ検査は、強い痛みを伴う検査と思われるのですが、当院の装置は身体があたる部分が丸みを帯びた形状にデザインされており、圧迫感がわずかにしなることで従来よりも痛みを少なくする工夫がされています。また検査中は、装置のLEDの照明がやさしく発光し、患者さんが落ち着いた気持ちで検査が受けられるようになっていきます。乳がんになる女性は12人に1人で年々増えてきていますが、早期発見で約90%が治癒すると言われています。早期の乳がんは自覚症状がなく、触ってもわからないため、自覚症状がないうちの定期的な検診が重要です。



## 火災総合訓練・災害総合訓練

平成29年3月22日(水)に火災総合訓練、3月24日(金)に災害総合訓練を金沢医科大学氷見市民病院で実施しました。火災総合訓練は、消防署職員から消火器の正しい使い方を学ぶ消火器訓練、消防講習会及び時間外の火災訓練を行いました。火災訓練は、時間外の職員が少ない時間帯の3階ICUでの出火を想定し、初期消火、避難誘導、安全防護、応急救護、連絡網による呼集訓練を行い、各部署の出火時の対応について確認を行いました。

災害総合訓練は、院内15箇所に出火場所を想定し、迅速な初期消火が行えるよう消火器、補助散水栓の場所や取扱いを確認した1次訓練、地震発生による3階東棟からの出火を想定した2次訓練、大規模災害発生によって多数の負傷者が来院した場合を想定したトリアージ訓練を3次訓練として行いました。2次訓練では、実際に補助散水栓からの放水や氷見市消防署と連携し、棚の下敷きとなった職員の救出や逃げ遅れとなった模擬患者を救出する訓練など本番さながらの訓練となりました。3次訓練は、地震等により市内の負傷者が多数来院される事を想定したトリアージ訓練を行いました。実際に鞍川地区の住民の方にも参加して頂き、トリアージエリアの設置、患者受付、医師、看護師からなるトリアージチームの動きなどを確認しました。

火災や災害は起こらないことが一番良いのですが、万が一起こってしまった場合に備え、訓練を通じて職員全員が常日頃から、防火・防災意識を高めていくことで、さらに安全安心の病院となるよう取り組んでいきます。



## 平成28年度第2回

## 氷見市居宅介護支援事業所との意見交換会

平成29年2月22日17時30分より、当院2階合同カンファレンス室にて、市内の医療福祉従事者や当院職員ら80名の参加のもと開催されました。

本会は、在宅医療を推進する取り組みの一環として、地域の医療福祉従事者との情報共有や連携強化を目的に年に数回開催しており、今回は、多職種合同の研修会として、病院側、ケアマネージャー側の双方より、それぞれの業務や取組みについて講演を行ないました。

講演では、各演者より、当院の退院支援看護師による退院後訪問での事例報告や、ケアマネージャーの役割や日常業務について紹介がなされ、参加者一同が熱心に聞き入り、共に在宅支援に携わる一員として、互いの立場や役割について改めて理解を深める有益な機会となりました。今後このような活動を通じて、地域医療の充実のために、より一層医療と介護の連携が図られるよう働きかけていきたいと思っております。



## 病院からのお知らせ掲示板

日程	演題	講師
5月20日(土)	— 開講式 — がん予防と検診の大切さについて 〜長く健康で過ごすために〜	病院長 一般消化器外科教授 齋藤 人志
6月17日(土)	骨粗鬆症と骨折 〜骨を強くする方法は?〜	整形外科 准教授 波多野栄重
7月15日(土)	高血圧に潜む脳疾患 〜脳疾患を防ぐためには〜	副院長 脳神経外科教授 高田 久
9月16日(土)	心臓を大切にしていますか? 〜静かに恐ろしい心臓発作に気付くために〜	副院長 循環器内科教授 福田 昭宏
10月21日(土)	加齢とともに発症する眼瞼下垂症とは 〜頭痛、肩こりに悩んでいませんか?〜	最高経営責任者 形成外科教授 川上 重彦
11月18日(土)	腎臓病と生活習慣病 〜透析治療にならないために〜 — 閉講式 —	腎臓内科 准教授 齋藤 淳史

### ● 平成29年度「健康づくり教室」のご案内

#### 開催要領

期間 平成29年5月〜11月  
(毎月1回 原則 第3土曜日)  
時間 14時〜15時30分  
場所 金沢医科大学氷見市民病院  
6階多目的ホール  
募集受講生 100名程度(予定)

#### 申込み・お問い合わせ先

金沢医科大学氷見市民病院 総務課  
電話 0766-174-1900  
(内線2023)

### ● 平成29年度高齢者の肺炎球菌感染症予防接種のお知らせ

#### 助成対象者

次の①②のいずれかに該当する方  
(ただし、すでにこの予防接種を受けたことがある方は対象外となります。)

- 65歳(S27.4.2)〜S28.4.1生の方  
70歳(S22.4.2)〜S23.4.1生の方  
75歳(S17.4.2)〜S18.4.1生の方  
80歳(S12.4.2)〜S13.4.1生の方  
85歳(S7.4.2)〜S8.4.1生の方  
90歳(S2.4.2)〜S3.4.1生の方  
95歳(T11.4.2)〜T12.4.1生の方  
100歳(T6.4.2)〜T7.4.1生の方

② 60歳以上65歳未満で心臓、じん臓もしくは呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害がある方(身体障害者手帳1級相当)。

#### 接種期間

平成29年4月1日〜  
平成30年3月31日  
(土曜日は受付無し)

#### 持ち物

診察券、健康保険証、案内はがき又は文書  
※はがき又は文書を持参されなかった場合、接種できませんのでご注意ください。

#### 個人負担金

3,000円

#### 問合せ先

医事課又は氷見市健康課  
0766-174-18062



### ● 休診のご案内

平成29年6月1日(木)は金沢医科大学開学記念日として休診となりますので、ご注意ください。



## 病院運営の基本方針

1. 患者さん中心の病院運営を行います。
2. 安全で信頼される医療の提供に最善を尽くします。
3. 患者さん・ご家族への「説明と同意」を徹底します。
4. 高度医療、質の高いチーム医療を推進します。
5. 地域の中核医療機関として地域医療連携・支援を推進します。
6. 良医の育成と医療人の教育・研修を推進します。
7. 働き甲斐のある健全で活力ある病院づくりに努めます。

## 患者さんの権利

当院は医療の中心は患者さんであると認識し、患者さんには次のような権利があることを宣言します。

- 安全で良質な医療を公平に受けることができます。
- 病気や治療内容について、分かりやすい言葉で説明を受け、ご自分の希望や意見を述べるすることができます。
- ご自分の意思で治療方法や医療機関を選択することができます。
- 診療記録の開示を求めることができます。
- 他の医療機関に受診することを希望されるときは、必要な情報提供を受けることができます。
- プライバシーは尊重され、個人情報 は厳重に保護されます。
- 臨床研究に関して十分な説明を受けたうえで、その研究に参加するかどうかご自分の意思で決定できます。また、いつでも参加を取り消すことができます。
- 治療に関する自己決定の参考にしていただくため、セカンドオピニオンを受けることができます。

## 患者さんへのお願い

当院は、地域の中核病院としての社会的使命を果たすため、様々な医療を提供しています。患者さんには、次のことをご理解いただき適切な医療を行うためご協力くださいますようお願いいたします。

- 健康状態、その他必要なことを可能な限り正確にお話してください。
- 説明を受けてもよく理解できない場合は納得できるまでお聞きください。
- 治療を受ける場合は、医療スタッフの指示に基づき療養してください。
- 病院のルールを守り、他の患者さんの迷惑にならないようご配慮ください。
- 教育病院として、医師、医学生、看護学生、医療専門職の学生、救急救命士などの臨床実習・研修教育を行っております。厳重な指導のもとに実施していますので、ご理解とご協力をお願いします。

## まちかど情報

### 氷見牛の魅力

氷見市といえば寒ブリを筆頭に海の幸がまず頭に浮かぶでしょう。しかし氷見市は海の幸だけではなく、実は、富山県最大の肉牛の産地でもあり、氷見牛は他のブランド牛にも負けない魅力をもっています。

氷見牛は他県のブランド牛と比較すると知名度はまだ低いかもかもしれませんが、近畿ブロックの品評会で上位を争うほどの評価を得ている黒毛和牛です。

昭和初期に兵庫県但馬から雌牛を導入し、飼料の配合や種牛の交配など、飼育技術を高めていくことで氷見牛は誕生しました。各農家は氷見牛の質をより高めるために自然飼料であるおからやりんごかすなどを用いて、その香りを牛肉に残すという試みも進めてきました。また、各農家の努力だけでなく氷見市のきれいな湧き水やストレスが少ない静かな環境も氷見牛の質を向上させている要因となっています。

他県に住む親戚や友人に氷見市の魅力を問われたとき、海の幸だけでなく氷見牛も勧めてみてはいかがでしょうか。



## エコロジーガーデン ecology garden

当院では、院内緑化をすすめて、来院された患者さんやご家族の方々に安らいだ環境を提供できるよう努力しております。この院内緑化は、下記のスポンサー企業の協賛のもとに維持運営を行っております。



### スポンサー企業

- 南アアジア商会 ● サカキ産業(株) ● たんぼ薬局氷見店 ● ニッショク(株) ● 日本海綿業(株) ● ファーマライズ(株) ● 株式会社ビー・エム・エル ● 氷見伏木信用金庫 ● 北陸ココロラボトリング(株) ● 菱機工業(株) ● 米沢電気工事(株) ● 株式会社山下設計

## 表紙について

写真は、氷見市の朝日山公園にて撮影したものです。

全270本のソメイヨシノが淡いピンクの花を咲かせていました。

新たな出会いや別れが多いこの季節。常に桜が寄り添ってくれていたように感じます。過去や未来への思いを馳せながら、しばし時がたつのを忘れ、満開の桜を眺めるのも一興ではないでしょうか。

## 編集後記

さわやかな新緑の季節となりました。

当院は皆様方のおかげにより、金沢医科大学が指定管理者となって10年目という節目の年を迎えております。この「かけはし」も2012年春号Vol11から表紙や内容を一新し、患者さんや地域と病院をつなぐ情報誌として重要な役割を担っております。

今年は節目の年として記念するイベント等もいろいろ計画されており、そのような情報もお届けできると思いますのでご期待ください。

かけはし春号編集委員 上端 雅則

### ■広報誌「かけはし氷見」の由来

広報誌が患者さんと病院、地域と病院をつなぐ「かけはし」となることを願って命名されました。